

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【187】
2. 日時：令和4年6月1日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与、藤原技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他11名※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（燃料集合体の耐震性についての計算書、弁の動的機能維持評価結果の記載方法について等）について、令和4年5月26日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【燃料集合体の耐震性についての計算書】

- 燃料被覆管応力評価におけるモンテカルロ法による統計処理について、9×9燃料（A型）及び（B型）の入力変数が相違している理由及びその影響を説明すること。

【弁の動的機能維持評価結果の記載方法について】

- 弁の動的機能維持評価について、機能確認済加速度を超過した弁と超過していない弁の評価時における水平・鉛直方向加速度の扱い方の差異を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし